

千葉県の供給・献血状況

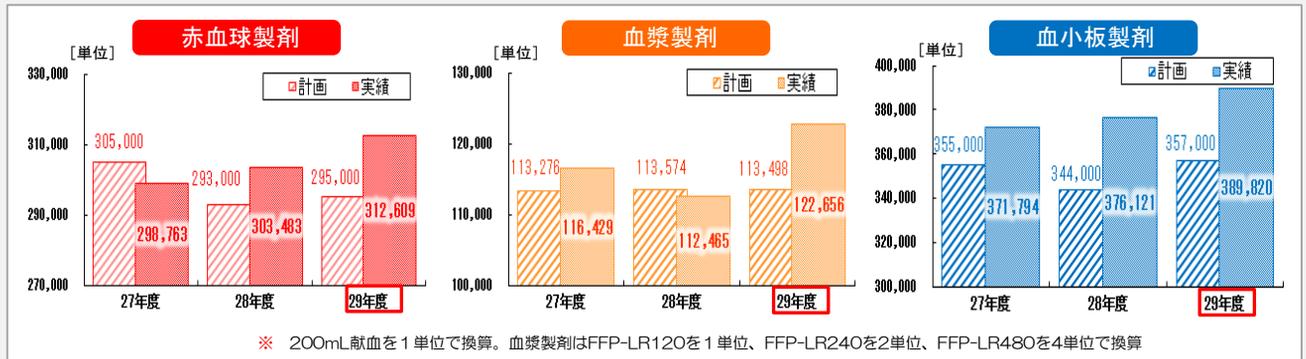
平成29年度の概要

千葉県では、輸血用血液製剤の需要が高い状況が続いております。平成29年度は、延べ **825,085 単位** (対前年比104.2%) を県内医療機関にお届けしました。この需要に対応するため、県内6カ所の献血ルームと10台の献血バスで延べ **219,873 名** (対前年比100.3%) の皆さまに献血のご協力をいただきました。

医療機関からの要請が高い400mL献血および高単位血小板成分献血を多くご協力頂いたことから、献血量は増加しましたが、輸血用血液製剤の製造単位数は医療機関の供給単位数に及ばない状況でした。

年齢別では10代～40代の各年代で減少しており、安全な血液製剤を安定的に医療機関へお届けするため、これからの献血を支える若年層の方々をはじめ、より多くの皆さまの献血へのご協力が必要とされています。

輸血用血液製剤供給状況 (過去3年間の状況)



各血液製剤とも、計画値を上回り、赤血球製剤と血小板製剤は過去最高の供給数となりました。

献血状況および輸血用血液製剤製造数と供給数の状況

区分	献血状況 [人]		
	平成29年度 目標数	実績数 (対計画比[%])	対前年度 増減数
400mL献血	150,291	154,427 (102.8%)	4,647
200mL献血	7,910	6,880 (87.0%)	▲2,856
血漿成分献血	42,569	34,831 (81.8%)	▲1,759
血小板成分献血	25,051	23,735 (94.7%)	637
合計	225,821	219,873 (97.4%)	669

医療機関需要の高い、400mL献血および血小板成分献血で昨年度実績数を上回るご協力となりました。

区分	製造数と供給数の状況 [単位]		
	平成29年度 製造単位数 ①	平成29年度 供給単位数 ②	製造単位数と 供給単位数の差 ①-②
赤血球製剤(400mL献血由来)	298,538	306,738	▲8,200
赤血球製剤(200mL献血由来)	6,713	5,871	842
血漿製剤	133,360	122,656	10,704
血小板製剤	369,864	389,820	▲19,956
合計	808,475	825,085	▲16,610

輸血用血液製剤の季節変動による在庫状況に応じて採血数の調整がありますが、千葉県内での献血協力数が医療機関需要に及ばない状況があります。

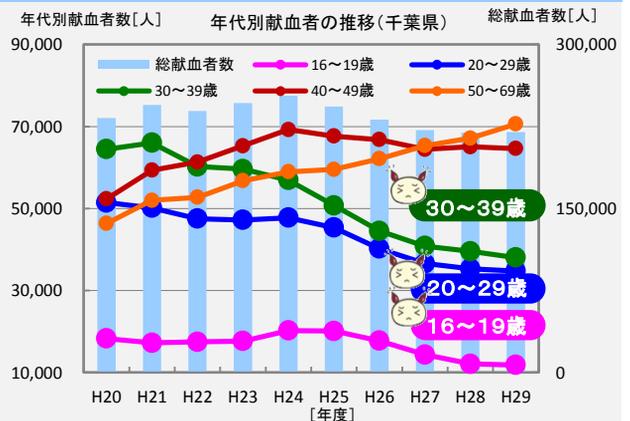
年代別献血状況

千葉県では、若年層(10代～30代)の献血者数が10年前に比べて37%減少しました。今後の献血基盤となる若年層にご協力をお願いするため、大学・専門学校・高等学校等における献血実施、献血セミナーの開催、千葉県学生献血推進協議会メンバーによる同世代への献血啓発、献血ルームにおける職場体験やキャンペーンなどを通じて、献血の普及啓発を実施して参ります。

若年層(10代～30代)の献血者数

H20年度 134,197人 → H29年度 84,661人

10年で約37%減少



平成30年度供給計画・献血目標

千葉県は平成30年度の供給計画数は、近年の県内医療体制並びに輸血用血液製剤の需要動向、輸血用血液製剤の供給予測数及び血漿分画製剤の製造に必要な原料血漿の当血液センター確保割当量を基本として策定しました。

また、献血目標数は医療機関から需要の高い400mL献血および高単位血小板成分献血(分割血小板)を中心として策定し、これらの策定値は平成30年1月30日に開催された千葉県献血推進協議会において供給計画数814,000単位、献血目標229,736人と決定しました。

区分	平成30年度供給計画 [単位]			
	平成30年度 計画数	平成29年度 計画数	増減	増減比(%)
全血製剤	0	0	0	-
赤血球製剤	313,000	295,000	18,000	106.1%
血漿製剤	115,000	113,498	1,502	101.3%
血小板製剤	386,000	357,000	29,000	108.1%
合計	814,000	765,498	48,502	106.3%

各血液製剤とも昨年度計画値を超えており、赤血球製剤と血小板製剤の増加が顕著です。

区分	平成30年度献血目標 [人]			
	平成30年度 目標数	平成29年度 目標数	増減	増減比(%)
400mL献血	159,349	150,291	9,058	106.0%
200mL献血	6,688	7,910	▲1,222	84.6%
血漿成分献血	40,343	42,569	▲2,226	94.8%
血小板成分献血	23,356	25,051	▲1,695	93.2%
合計	229,736	225,821	3,915	101.7%

400mL献血の更なるご協力が必要です。血小板成分献血は、高単位採血により採血人数が減少しています。

献血の輪が広がりますように

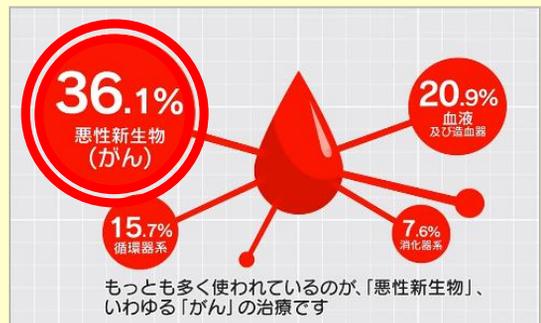
輸血用血液の多くは「がん」や「白血病」などの病気の患者さんの治療に使用しております。命の危険と隣り合わせの治療の過程で、患者さんが安心して輸血医療を受けられるよう、より多くの皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

Q. いつも献血のお願いをしているのは、なぜ？

A. 病気の治療では、1度で数人分の血液を使用したり、定期的な輸血が行われることから、1人の患者さんの命を何人もの献血者で支えています。一方、1人の方から短期間に何度も献血にご協力いただくことはできないため、血液センターはいつも献血のお願いをしています。また、輸血用血液には有効期間(※)があり、長期保存が出来ないことから、継続的なご協力をお願いしています。

※ 血液製剤有効期限

【赤血球製剤】 採血後21日間 【血小板製剤】 採血後4日間



出典：東京都福祉保健局(2015年)調べ

輸血治療を経験された方から寄せられたメッセージをご紹介します

特設サイト「M+ station」より

生きる力 (ペンネーム：しもーぬさん)

私は24歳のときに悪性リンパ腫という血液のがんの影響で輸血を経験しました。白血球を増やす薬がありますが、赤血球を増やす薬はありません。輸血がなければ生きていくことができません。今までに多くの方々に献血にご協力いただき、私は輸血によって今を生きることが出来ます。生きる力をくださって本当にありがとうございます。

命のおすそわけ (ペンネーム：M. Aさん)

献血に興味があるものの近くに献血センターがなく一度も献血したことがなかったんですが、昨年第一子を出産した際、出血が多く輸血をしていただきました。献血に興味があったとはいえ、どこか他人事で、自分が輸血してもらう側に回るなど全く考えていなかった私。献血がなかったら自分はどうなっていたのかと、献血してくれた方々に心から感謝しました。

献血ルームのご案内

柏 献血ルーム (柏駅東口樺本ビル5階) Tel 04-7167-8050 	松戸献血ルーム Pure (松戸駅西口松戸ビル1階) Tel 047-703-1006 	献血ルーム フェイス (船橋駅南口フェイスビル7階) Tel 047-460-0521 	津田沼献血ルーム (津田沼/バルコB館6階) Tel 047-493-0322 	モノレールちば駅献血ルーム (モノレール千葉駅構内) Tel 043-224-0332 	運転免許センター献血ルーム (千葉運転免許センター内) Tel 043-276-3641
--	--	--	--	--	---

献血ルーム 受付時間
 ●成分受付▶10:00~12:00/14:00~17:00
 ●400mL(200mL)受付▶10:00~13:00/14:00~17:30
 ●定休日▶年末年始

運転免許センター 献血ルーム 受付時間
 ●400mL(200mL)受付▶9:00~13:00/14:00~16:30(日曜日は1時10分迄です。)
 ●定休日▶土曜日・祝日・年末年始
 ※運転免許センター献血ルーム(千葉市)では成分献血の受入は行っていません。